

電動ダンパ付中間取付形ダクトファン〔三部屋用〕

浴室・トイレ・洗面所用 (プラスチックボディタイプ)

形名

- V-15ZMDC-A ・ V-18ZMDC-A
- V-15ZMDC-B ・ V-18ZMDC-B
- V-15ZMDC-C ・ V-18ZMDC-C

取付説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの取付説明書をお読みください。

取付工事はお買上げの販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。





- この製品には、システム部材のコントロールスイッチまたは市販のスイッチ、及び補助グリルが必要です。
- 接続ダクトはφ100の塩化ビニル管(4番管)、アルミフレキシブルダクト、鋼板管のいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること




- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を△警告・△注意の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
------------	----------------------------------	------------	-------------------------------------



●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁止		分解禁止		指示に従い必ず行う		アース線接続
---	----	---	------	---	-----------	---	--------

△警告

	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100V以外では使用しないでください。(火災や感電の原因になります) ●内釜式風呂を据付けた浴室には取付けないでください。(排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります) ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。(ショートや感電の恐れがあります) ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしないでください。(爆発や引火の恐れがあります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人には行わないでください。(火災・感電・けがの原因となります) 修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多いところで使用する場合は必ずアースを取付けてください。(故障や漏電のときに感電することがあります。)

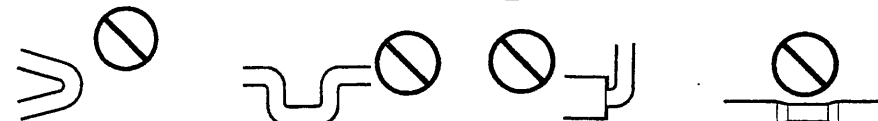
△注意

	<ul style="list-style-type: none"> ●浴室に壁スイッチを設けないでください。(感電の恐れがあります) ●直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けないでください。(火災の恐れがあります)
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。(落下によりけがをすることがあります) ●部品の取付けは確実に行ってください。(落下によりけがをすることがあります) ●取付けの際は手袋を着用してください。(けがをすることがあります) ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。(高温では温度ヒューズが溶断して使えなくなります)
- 浴室など湿気の高い場所では、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)、または雨などの浸入を防ぐためのフード(システム部材)などを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しほり



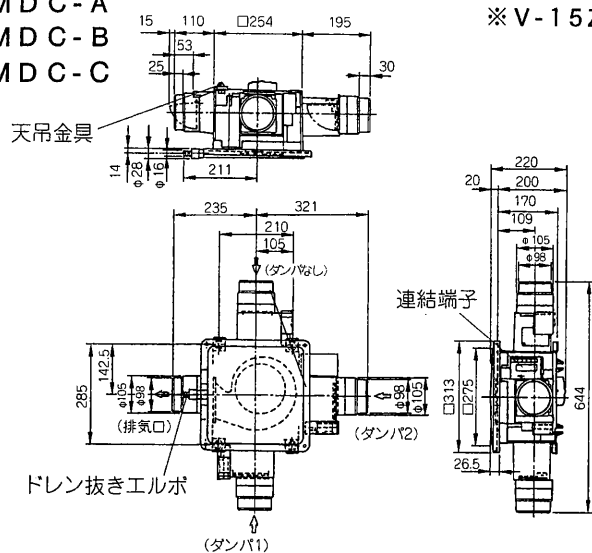
規制

- プラスチックボディ及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 共同ダクトへ排気する場合は建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。

外形寸法図

形名

- V-15ZMDC-A
- V-15ZMDC-B
- V-15ZMDC-C

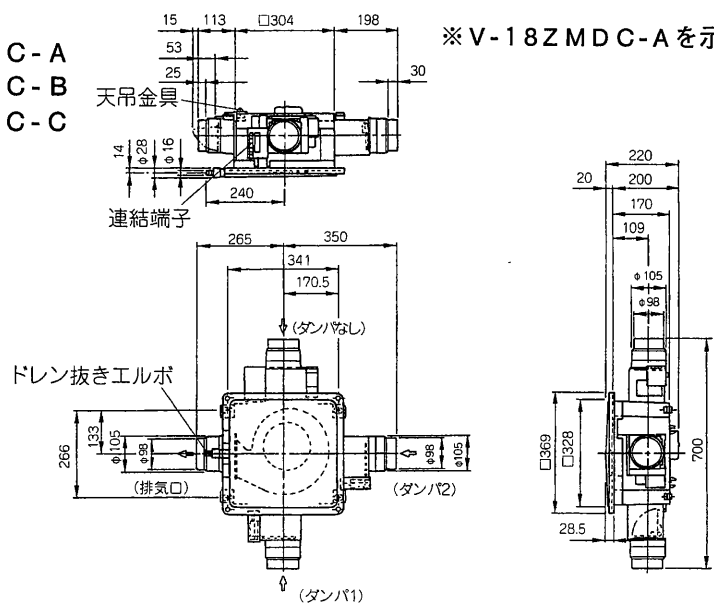


※V-15ZMDC-Aを示す。

単位mm

形名

- V-18ZMDC-A
- V-18ZMDC-B
- V-18ZMDC-C



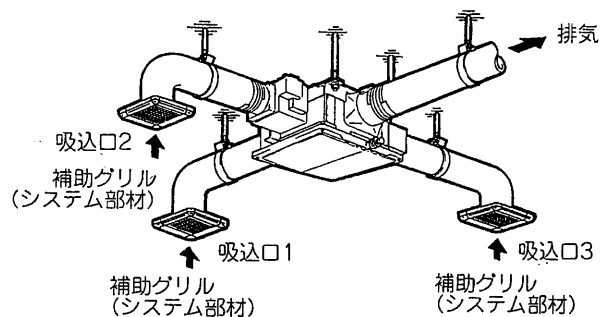
※V-18ZMDC-Aを示す。

単位mm

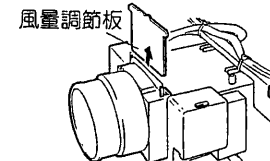
取付方法

—取付け前の準備

本体の取付位置・吸込方向・排気方向を決めます。

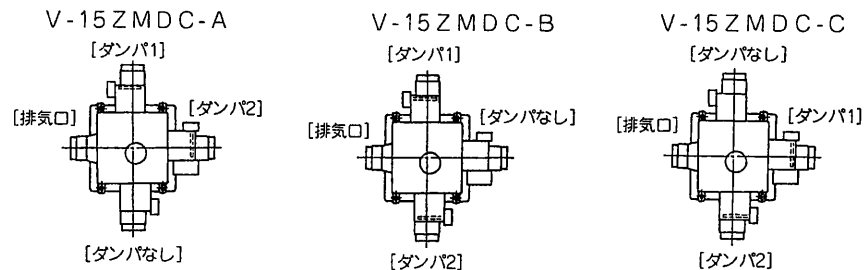


※工場出荷時は[ダンパなし]がトイレ側に設定されています。
[ダンパ1]または[ダンパ2]をトイレ側にする場合には、風量調整板の位置を変更してください。

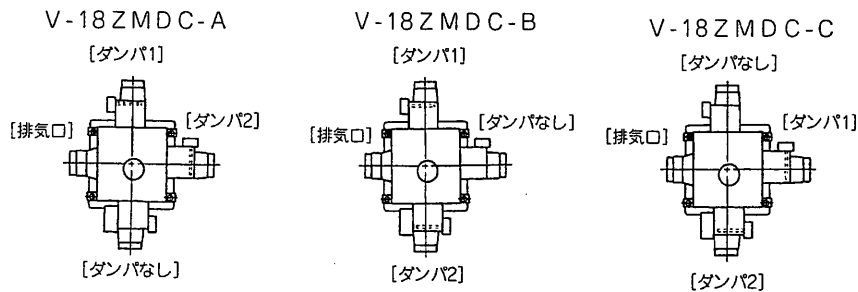


このダクトファンは排気方向とダンパとの位置により、機種が異なります。

V-15ZMDC-A・B・C



V-18ZMDC-A・B・C

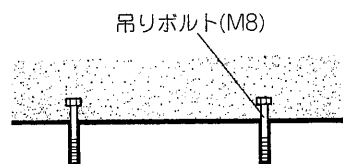


※この図は製品上側（モーター側）から見たものです。

取付方法つづき

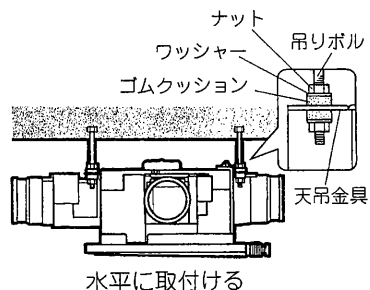
— 本体の取付け —

1



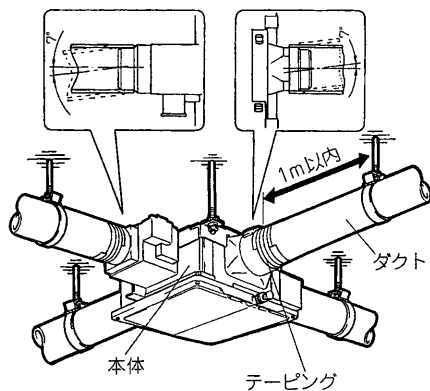
外形寸法図の天吊金具取付位置を参照して吊りボルトを埋込みます。

2



ダンパのある吸込口、ダンパのない吸込口と排気口の位置を確認して、本体が水平になるよう、またドレン排出ができるよう天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

— ダクト工事 —



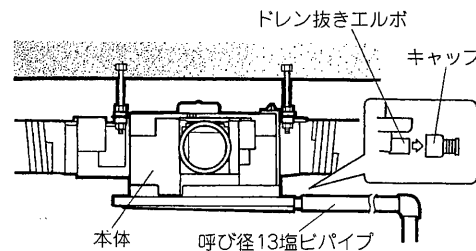
1. 本体から壁排気穴・補助グリル位置までダクト配管をします。
2. ダクトをダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようテーピング(市販品)してください。
 - 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

お願い

- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。
3. ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。

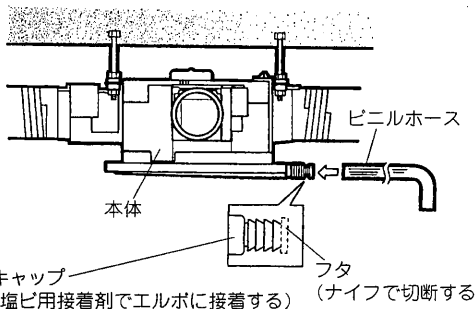
— ドレン抜き工事 —

浴室など湿気が多い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き工事を行ってください。



■ 硬質塩ビパイプで施工する場合

1. 本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずします。
2. ドレン抜きエルボの差し込み部に、呼び径13(外径18mm)の塩ビパイプを接続します。
3. 接続部分から水漏れのないようシーリング剤を塗布してください。



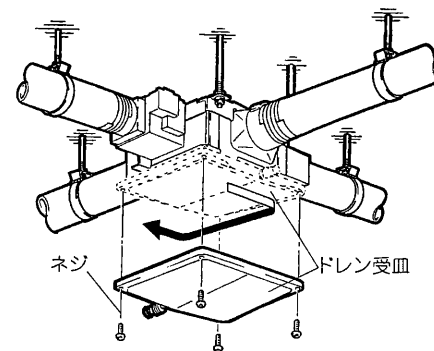
■ ビニルホースで施工する場合

1. 本体下側にあるドレン抜きエルボのキャップに塩ビ用接着剤を塗布して接着してください。
2. 先端のフタをナイフで切断したあと、ビニルホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定します。

お願い

- ドレン抜きパイプから水が漏れないように工事を行ってください。
- パイプの端は、必ず排水可能ところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
- パイプの途中に、水のたまるようなへこみをつくらないでください。

ドレン排出方向の変更



1. 4か所のネジをはずし、ドレン受皿をはずします。
2. 向きを変更し(4方向可能)、はずしたネジで取付けます。

チェックシートの記入

ダンパ使用状況			
場所 ダンパ	浴室	洗面所	トイレ
ダンパ1		○	
ダンパ2	○		

※該当する所に印を付けてください。

※上図は、ダンパ1が洗面所、ダンパ2が浴室の場合の例を表します。

ドレン受皿に貼ってあるチェックシートに配管方向を記入します。

- ダンパ1から配管されているのが浴室、洗面所、トイレのいずれかを確認して印を記入します。
- ダンパ2も同様に確認します。

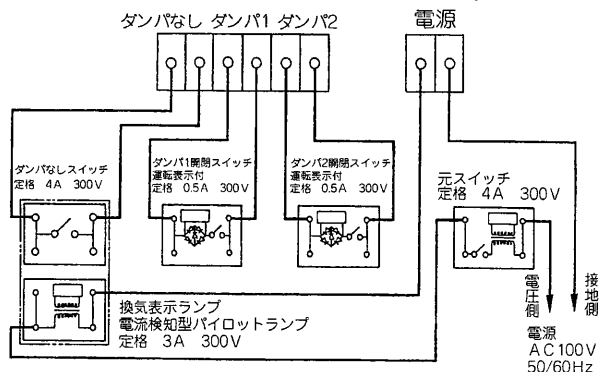
電気工事

- 電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
- 電源は、単相交流100Vをご使用ください。200V電源をご使用になりますと制御回路の故障、モーターの焼損、火災の原因となります。
- 浴室など湿気の多いところで使用する場合は必ず接地工事（アース）を行ってください。
- 電線はVV Fケーブルφ1.6 2芯を使用してください。

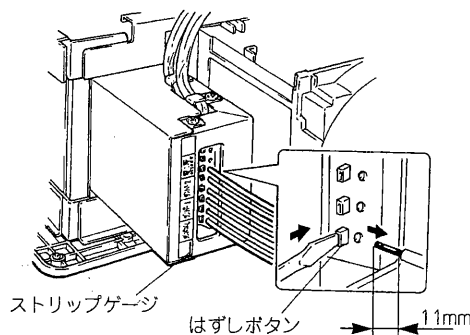
<結線図>……太線部分を結線してください。

お願い

- ダンパなしスイッチ部に設ける「換気表示ランプ」には必ず電流検知型パイロットランプを使用してください。



<接続のしかた>



結線図を参照し先端11mm(ストリップゲージに合わせる)皮むきした電線を速結端子に奥まで確実に差し込みます。

お願い

- 電源コードは保守のために本体付近で200mm以上たるませてください。
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（松下電工製WV2500）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源コードを速結端子からはずす場合はマイナスドライバーで速結端子のはずしボタンを押しながら電源コード引いてください。

天井材を張る

天井材を張ります。

お願い

- 本体の真下のドレン受皿が取りはずせる位置に保守点検口(□450)が必要です。(点検口がない場合、メンテナンスができません。)

補助グリルの取付け

システム部材のグリルを使用し、同梱の取付説明書を参照して取付けてください。

試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認し、正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実に振動・異常音がないかを確認してください。

お願い

- ダンパなしスイッチに設けてある「換気表示ランプ」はダンパなしスイッチが「入」になっていることを示すランプではなく換気扇が運転していることを示すランプです。ダンパなしスイッチが「切」でもダンパ1開閉用スイッチまたはダンパ2開閉用スイッチが「入」で換気扇が運転されていればランプが点灯していることを確認してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111